

物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願

物価高のもと年金引き上げは当然の願い…山岡議員が主張

年金者組合甲賀支部から提出されていた『物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願』の審査が5日、付託された厚生文教常任委員会で行われました。審査に先立ち請願提出者の藤橋雅嗣さんから請願の趣意を説明、紹介議員の岡田重美議員から、請願の主旨をふまえて採択を求めました。

常任委員会での審査では、凜風会の西村慧議員が「物価高のなか生活が厳しいというところは理解できるが、現時点において国に意見書を出すのは適切でない」と発言し、反対討論。以前、同様請願の紹介議員となった凜風会の瀬古幾司議員も「国では物価高騰対策がされている。そういうことも十分考えなければならぬ」と反対討論を行いました。

これに対し日本共産党の山岡光広議員は「いつなら適切なのか」と西村議員の反対討論の問題点を指摘。「請願の主旨は、物価上昇に見合う年金額になっていない、ということであり特別なことではない。生活の実態がよくわかるというのなら市議会として、市民の声を国に届けるというのは大事な役割ではないか」と採択を求めました。また、無党派の福井進議員も「高齢者の方が物価高で困っている、年金を上げて欲しいということについて、意見書を出すことに当然賛成する」と討論を行いました。

しかし、採決の結果、賛成は山岡光広議員と福井進議員の2名で「不採択とすべき」となりました。反対は、凜風会の西村慧・瀬古幾司議員、瑞誠の会の北田麗子・富増力章議員、公明党の木村眞雄議員。本会議での採決は、18日に行われます。

「主旨は充分理解する」と言いながら 請願採決に反対

厚生文教常任委員会で不採択に

凜風会・瑞誠の会・公明

イラン攻撃 いまずぐやめよ！

トランプ米政権とイスラエルによるイランへの大規模な攻撃は、国連憲章と国際法に違反する先制攻撃であり、断じて許されるものではありません。すでに米・イスラエルとイランによる報復攻撃の中で、学校や病院、住宅など民間施設にも被害が及び、子どもを含む民間人が多く犠牲になっています。

日本共産党の田村智子委員長が、国会で高市首相に対し、攻撃の即時中止を両国に求めるよう迫りましたが、高市首相は一切批判をしませんでした。

戦争させない甲賀市民の会は10日夜、まるーむ前で抗議の宣伝行動を行いました。



貴生川駅周辺整備事業 「キラッタプロジェクト」 南口エリアは公民連携による事業

貴生川駅周辺整備計画「キラッタ・プロジェクト」が具体化されつつあります。特に南口エリアは、交流拠点ゾーンとして、市有地を活用して「公民連携」による開発が進められようとしています。

「公民連携」は、公民サービスを民間主導で行うというもので、甲賀市としては、初めての試みです。

計画では、エリア内に図書館機能を備えた仮称「ラーニングセンター」や賃貸住宅を建てることとされています。連携先の民間事業者は、今後公募される予定ですが、本来自治体が行うべき公共サービスを民間に委ねる方法でいいのかどうか、整備計画の内容とともにチェックしていく必要があります。

議会では、公民連携調査特別委員会を設置し、取り組んでいます。日本共産党からは岡田重美議員が委員として参加しています。

日本共産党
甲賀市議員団ニュース
2026年 3月 15日 第574号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044